



どのような未来を目指すための事業か

歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

電線を地中化し 電柱を撤去しました

地元の声

- ・電線がたくさんあり、見栄えが悪い。（地元住民）
- ・電柱が邪魔で、歩行するときに危険である。（学校関係者、地元企業）

事業前

◆電柱が歩行者の通行を阻害し、歩きにくい状況です。また、災害時に電柱が倒壊し、道路を寸断するおそれがありました。



事業前の状況

事業後

◆道路上の電柱が無くなり、歩行者や自転車の安全な通行空間が確保されるとともに、災害の安全な通行が確保されました。

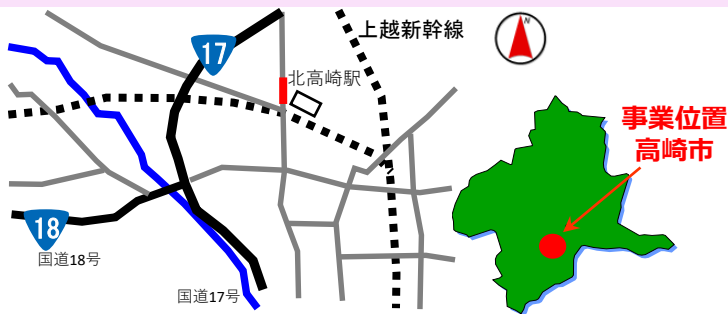


事業後の状況

事業の概要

- 事業箇所：高崎市大橋町
- 事業内容：電線共同溝整備延長 300m
- 事業期間：平成24年度～令和4年度

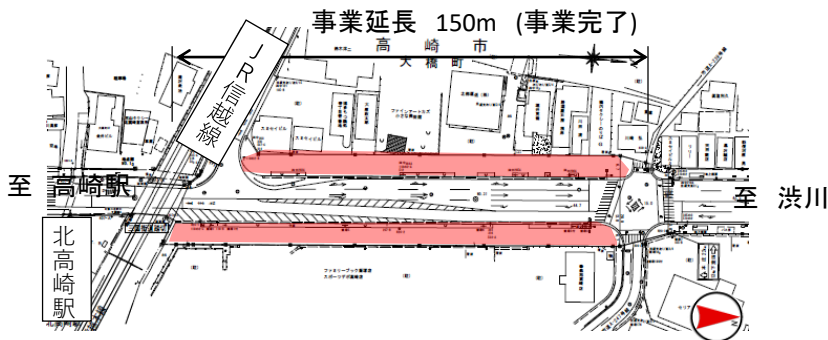
JR信越線



事業の進捗状況（令和4年度完了）

今、何をしているか

令和4年度に電柱の撤去が終了し、事業が完了しました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了